

公益財団法人 小笠原敏晶記念財団  
2025年度事業計画書

当財団の目的達成のため、定款第4条に定める事業を下記の通り、2025年度に実施する。

記

事業費の予算総額 548,290,203円

I. 科学技術分野

1. 一般研究助成

1) 対象

高分子分野における、新素材、加工技術、新機能に関する研究課題

- ①高分子の新規合成法、高分子新素材の開発
- ②高分子の成形・加工技術
- ③プラスチックを利用した新機能部品の開発
- ④SDGs対応の高分子調製と活用

2) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

3) 募集期間

4月25日(金)～6月27日(金)

4) 選考方法

9月中旬、選考委員による選考委員会にて行う。

5) 決定時期

9月中旬～下旬、理事会で決定

6) 予算額 130,000,000円

2. インキュベンチャー助成

2015年度より新しい事業として、日本の成長戦略につながるような独創性に富んだ公益性の高い新製品・新技術のプロジェクトを推進するための助成。

1) 対象

- (1) 社会経済の健全な発展と国民生活の向上に資すると認められる公益性の高い優れたプロジェクト  
(但し、医薬品開発を除く)
- (2) 原則として3年、最大5年以内に事業化可能なもの
- (3) 高等専門学校発ベンチャーからの応募も推奨

2) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

3) 募集期間

4月25日(金)～6月27日(金)

4) 選考方法

選考委員による選考委員会にて行う。

(第1次選考:9月中旬、第2次選考(プレゼン選考):10月中旬)

5) 決定時期

11月中旬、理事会で決定。

6) 予算額 135,000,000円

### 3. 科学技術に関する国際交流活動等への助成

#### 1) 対象

- (1) 海外における国際的な学会・研究集会への研究発表のための出張助成
- (2) 国内における国際的な学会・研究集会開催のための助成

#### 2) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

#### 3) 募集期間

4月25日(金)～7月31日(木)

#### 4) 選考方法

選考委員による選考。

#### 5) 決定時期

9月初旬、理事会で決定。

#### 6) 予算額 10,000,000 円

- (1) 学会等への出張等: 5,000,000 円、(2) 学会の開催: 5,000,000 円

※出張助成は応募状況で、2次募集予定

### 4. 特定課題研究助成

#### 1) 対象等

広く自然科学、社会科学の分野における主に学術的・社会的意義の大きい調査研究、学術交流等を対象。財団内で設定するあるいは学識経験者等の推薦による特定課題に対して行うことを目的とした助成。

#### 2) 募集、選考方法

随時案件受入、選考委員による選考。

#### 3) 決定時期

随時、理事会で決定

#### 4) 予算額 40,000,000 円

## II. 文化・芸術分野

### 1. 調査・研究等への助成

#### 1) 助成の目的

日本の現代美術分野における「調査・研究」活動に対して助成して、活動を充実させることで、日本の現代美術の更なる発展や国際的な展開を図ることを目的とする。

#### 2) 対象

##### (1) 日本の現代美術に関する調査・研究活動

- ① 現代美術史、現代美術作品の保存・修復・アーカイブ
- ② 現代美術を通じた教育・普及、現代美術の展示技術
- ③ アート・マネジメント、アーティストの環境改善など

##### (2) 日本の現代美術分野のアーティストによる作品制作や発表に係る調査・研究活動

- ① フィールドワーク、専門家へのインタビュー、素材や技術面の研究
- ② レジデンス・プログラムを活用した調査・研究活動
- ③ 現代美術分野に関する調査・研究を行う個人、または研究グループ、団体  
また現代美術の創作活動を行う個人

#### 3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

#### 4) 募集期間

7月15日(火)～9月25日(木) 予定

#### 5) 選考方法

選考委員による選考委員会にて行う。

6) 決定時期

12月末、理事会で決定

7) 予算額 70,000,000 円

2. 交流助成

1) 助成の目的

日本の現代美術の分野のあらゆる担い手相互の交流を促進する会議等の開催を支援して、問題や課題について議論し、新しい価値を創造して、同分野の活性化と、発展を図ることを目的とする。

2) 対象

(1) 日本国内で実施する現代美術関連の会議を開催する費用の一部を支援する。

① 会議は、研究会、シンポジウム、ワークショップ、ネットワーク会議等を含む。

② 参加者は当該分野における専門的な職務に従事している者が半数以上参加。

③ 非営利での開催で、オンラインでの開催や、ハイブリット開催も可。

(2) 対象者は、3年以上現代美術分野において専門的な職務に従事している者または同様の専門性があると認められる者。個人・団体での応募可。

3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

4) 募集期間

上期: 4月25日(金)～6月19日(木) (予定)

下期: 9月10日(水)～10月30日(木) (予定)

5) 選考方法

選考委員による選考委員会にて行う。

6) 決定時期

上期: 8月末、理事会で決定

下期: 12月末、理事会で決定

7) 予算額 20,000,000 円

上期: 10,000,000 円、下期: 10,000,000 円

3. 渡航・旅費等の助成

1) 助成の目的

日本の現代美術のあらゆる担い手に対して、日本国外で開催される国際会議等への参加や、国際移動を伴う展覧会業務に係る国際旅費を支援することで、日本の現代美術の国際的な発展を図ることを目的とする。

2) 対象

(1) 日本国外で開催される会議等へ参加する国際旅費、参加費、現地の滞在費の1名分。

① 日本国外で開催される会議(国際会議、シンポジウム、研究会、ワークショップ等)

② 日本国外で開催される展覧会で、開催のために必要な専門的業務や美術品の輸送随行に係る学芸員、コーディネーター等の国際旅費

③ 日本国外で開催されるレジデンス・プログラムへ参加するための国際旅費

(2) 対象者は文化・芸術分野等において3年以上、専門的な職務に従事している者または同様の専門性があると認められる者。

3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

4) 募集期間

上期: 4月25日(金)～6月19日(木) (予定)

下期: 9月10日(水)～10月30日(木) (予定)

5) 選考方法

選考委員による選考委員会にて行う。

6) 決定時期

上期: 8 月末、理事会で決定

下期: 12 月末、理事会で決定

7) 予算額 20,000,000 円

上期: 10,000,000 円、下期: 10,000,000 円

4. 現代美術の翻訳助成

1) 助成の目的

日本の現代美術に関する資料、アーティストファイル等の良質な英語翻訳を支援し、日本の現代美術の現状と多様性を広く海外へ紹介・周知することを目的とする。

2) 対象

(1) 日本の現代美術に関する日本語のテキストから英語への翻訳費用

①アーティストファイルやステートメントなど、アーティスト資料の翻訳に係る費用

②作品に付随する字幕・解説(キャプション)の翻訳に係る費用

③オンライン媒体も含まれます。

(2) 現代美術分野で活動する個人または団体。(法人格は問いません)

3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

4) 募集期間

7 月 15 日(火)~9 月 25 日(木) (予定)

5) 選考方法

選考委員による選考委員会にて行う。

6) 決定時期

12 月末、理事会で決定

7) 予算額 15,000,000 円

5. 新型コロナウイルス等特別助成(現代美術分野)

-令和 6 年能登半島地震 緊急助成(現代美術・伝統工芸分野)-

1) 目的

2024 年 1 月 1 日の能登半島地震と 9 月の能登半島豪雨災害の影響で、能登地方での現代美術分野ならびに伝統工芸分野において活動に支障を来している方々と、その地域での同分野への復興活動に対して支援することを目的とする。

2) 対象

能登半島地震と能登豪雨災害の影響で活動に何らかの被害を受けた現代美術分野と伝統工芸分野で活動をされている方

(1) 現地での文化・芸術分野での復興を目的とした活動をされている個人、団体。

団体の法人格は問わない。

3) 募集方法

当財団のホームページに募集要項掲載

4) 募集期間

7 月 15 日(火)~9 月 25 日(木) (予定)

5) 選考方法

選考委員による選考委員会にて行う。

6) 決定時期

12 月末、理事会で決定

7) 予算額 70,000,000 円

#### 6. 特定課題助成

##### 1) 対象等

文化・芸術の分野を対象とし、財団内で設定するあるいは学識経験者等の推薦による特定課題に対して行うことを目的とする。

##### 2) 募集、選考方法

随時案件受入、選考委員による選考

##### 3) 決定時期

理事会で決定

##### 4) 予算額 20,000,000 円

#### Ⅲ. 目的達成のための関連業務(事業推進業務)

助成申請の内容を選考委員が選考するための業務 予算額 18,290,203 円

#### Ⅳ. 【事業費まとめ】

(単位:円)

科学技術	1. 一般研究助成	130,000,000
	2. インキュベンチャー助成	135,000,000
	3. 国際交流助成	10,000,000
	4. 特定課題研究助成	40,000,000
	小計	315,000,000
文化・芸術	1. 調査・研究等への助成	70,000,000
	2. 交流助成	20,000,000
	3. 渡航・旅費等の助成	20,000,000
	4. 現代美術の翻訳助成	15,000,000
	5. 新型コロナウイルス等特別助成	70,000,000
	6. 特定課題助成	20,000,000
	小計	215,000,000
事業推進費		18,290,203
総計		548,290,203

以上

2025年度 収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

2025年4月1日から2026年3月31日まで

公益財団法人 小笠原敏晶記念財団

(単位:円)

科目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引控除	合計
	公1 科学技術振興事業	公2 文化・芸術振興事業	公3 コロナ等緊急助成事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	248,200,000			420,556,550	668,756,550	62,050,000		730,806,550
基本財産利息収入(振替額)	1,800,000			4,500,000	6,300,000	450,000		6,750,000
基本財産配当収入(振替額)	246,400,000			416,056,550	662,456,550	61,600,000		724,056,550
雑収益	0				0	5,500		5,500
受取利息	0				0	5,500		5,500
経常収益計	248,200,000	0	0	420,556,550	668,756,550	62,055,500	0	730,812,050
(2) 経常費用								
事業費	392,658,464	187,244,420	104,108,109	0	684,010,993			684,010,993
支払助成金								
研究助成費	305,000,000				305,000,000			305,000,000
国際交流助成費	10,000,000				10,000,000			10,000,000
文化・芸術助成費		145,000,000	70,000,000		215,000,000			215,000,000
事業推進費	9,249,435	4,972,422	4,068,346		18,290,203			18,290,203
役員報酬	8,940,000	5,052,000	3,888,000		17,880,000			17,880,000
給与手当	19,080,000	10,494,000	8,586,000		38,160,000			38,160,000
委託費	12,850,000	7,180,000	5,670,000		25,700,000			25,700,000
会議費	1,104,000	0	0		1,104,000			1,104,000
旅費交通費	1,420,000	781,000	639,000		2,840,000			2,840,000
通信運搬費	792,000	435,600	356,400		1,584,000			1,584,000
消耗品費	256,000	140,800	115,200		512,000			512,000
広報費	7,136,300	3,924,965	3,211,335		14,272,600			14,272,600
印刷製本費	1,840,000	1,012,000	828,000		3,680,000			3,680,000
新聞図書費	0	6,732	0		6,732			6,732
支払手数料	200,000	110,000	90,000		400,000			400,000
賃借料	8,518,936	4,685,415	3,833,521		17,037,872			17,037,872
租税公課	164,000	90,200	73,800		328,000			328,000
福利厚生費	120,000	66,000	54,000		240,000			240,000
法定福利費	3,800,000	2,090,000	1,710,000		7,600,000			7,600,000
減価償却費	1,867,793	1,027,286	840,507		3,735,586			3,735,586
水道光熱費	320,000	176,000	144,000		640,000			640,000
管理費						55,361,715		55,361,715
役員報酬						4,320,000		4,320,000
給与手当						9,540,000		9,540,000
委託費						25,300,000		25,300,000
会議費						1,410,000		1,410,000
旅費交通費						710,000		710,000
通信運搬費						396,000		396,000
消耗品費						128,000		128,000
広報費						3,568,150		3,568,150
印刷製本費						920,000		920,000
新聞図書費						464,200		464,200
支払手数料						100,000		100,000
賃借料						4,259,468		4,259,468
支払負担金						390,000		390,000
租税公課						82,000		82,000
研修費						500,000		500,000
福利厚生費						60,000		60,000
法定福利費						1,900,000		1,900,000
減価償却費						933,897		933,897
雑費						220,000		220,000
水道光熱費						160,000		160,000
経常費用計	392,658,464	187,244,420	104,108,109	0	684,010,993	55,361,715	0	739,372,708
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 144,458,464	△ 187,244,420	△ 104,108,109	420,556,550	△ 15,254,443	6,693,785	0	△ 8,560,658
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 144,458,464	△ 187,244,420	△ 104,108,109	420,556,550	△ 15,254,443	6,693,785	0	△ 8,560,658
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 144,458,464	△ 187,244,420	△ 104,108,109	420,556,550	△ 15,254,443	6,693,785	0	△ 8,560,658
他会計振替額	144,458,464	187,244,420	104,108,109	△ 435,810,993	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	△ 15,254,443	△ 15,254,443	6,693,785	0	△ 8,560,658
一般正味財産期首残高								16,992,574
一般正味財産期末残高								8,431,916
II 指定正味財産増減の部								
受取寄付金					0			0
基本財産運用益	248,200,000			420,556,550	668,756,550	62,050,000		730,806,550
基本財産利息収入	1,800,000			4,500,000	6,300,000	450,000		6,750,000
基本財産配当収入	246,400,000			416,056,550	662,456,550	61,600,000		724,056,550
一般正味財産への振替額	△ 248,200,000			△ 420,556,550	△ 668,756,550	△ 62,050,000		△ 730,806,550
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高								31,022,271,096
指定正味財産期末残高								31,022,271,096
III 正味財産期末残高								31,030,703,012